

株式会社アールテック・ウエノ

本社/〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-7 NBF日比谷ビル 10F
TEL.03-3596-8011 FAX.03-3596-8023


<http://rtechueno.com>

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
単元株式数	1株
上場証券取引所	大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」
証券コード	4573
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL.0120-232-711

●この株主通信は、ユニバーサルデザイン※に配慮しています。

※ユニバーサルデザインとは、年齢や障害を問わず、できるだけ多くの人が利用可能なデザインのことをいいます。

 再生紙を使用しております。

 R-Tech Ueno

第21期 株主通信
BUSINESS REPORT
2009.4.1-2010.3.31



目次 Contents

1 決算ハイライト

- 売上高
- 営業・経常利益
- 当期純利益・1株当たり純利益
- 純資産・1株当たり純資産
- 総資産・自己資本比率
- 1株当たり配当金

2 企業理念

当期の概況

3 成長戦略

4 研究開発

5 財務内容

- 貸借対照表
- 損益計算書
- キャッシュ・フロー計算書
- 配当について

6 会社プロフィール

- 会社概要
- 役員
- 株式の状況

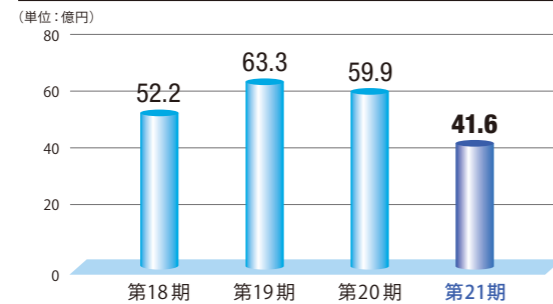
トピックス

- 主力製品 (P4)
- ホームページ (P5)
- 株主優待講演会 (P6)

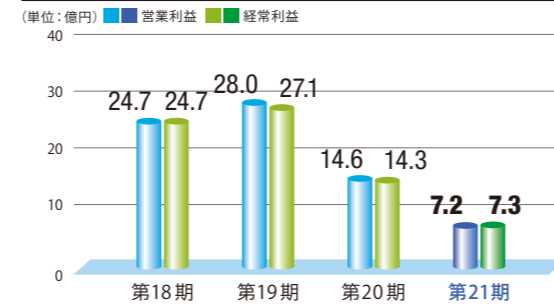
株主メモ

1 決算ハイライト Financial Highlights

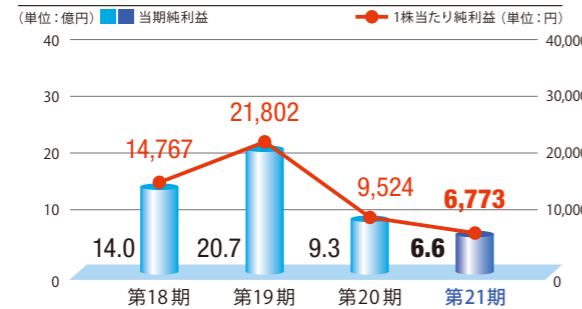
売上高



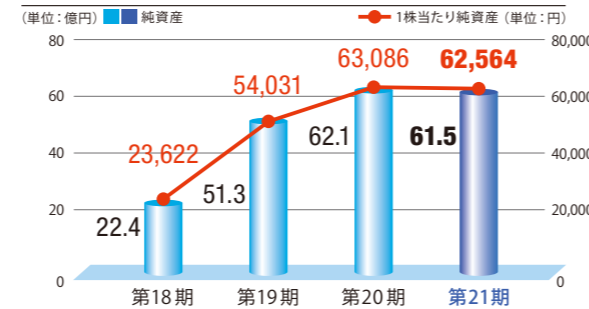
営業・経常利益



当期純利益・1株当たり純利益*



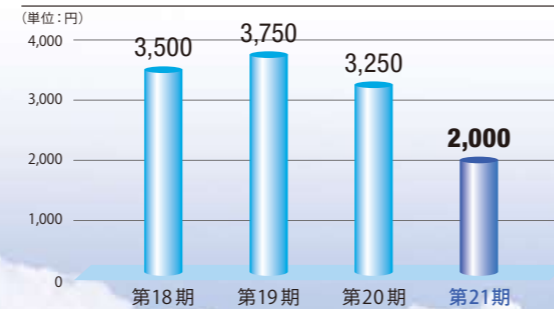
純資産・1株当たり純資産*



総資産・自己資本比率



1株当たり配当金*



※第18期～第20期の数値については株式が1:2で分割された前提で再計算しております。(小数点以下切捨)

2 企業理念 Corporate Philosophy



代表取締役社長 真島 行彦

Physician-Oriented Company

医師の目線で医薬品販売・開発を行う
分野特化型(眼科・皮膚科)のグローバルな
医薬品会社を目指します。

社名の由来

Research (研究) Technology (技術) 上野隆司博士(創業者)
R-Tech Ueno = アールテック・ウエノ

当期の概況 Business Review

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液は、眼科医を対象とした製品説明会や緑内障の早期発見に繋げるための医師向け勉強会等を積極的に行うなど、処方数の維持に努めてまいりました。その結果、当期のレスキュラの売上高は2,636百万円となりました。また、米国のSucampo Pharma Americas, Inc.の製品であるAmitiza®カプセルは、北米地域において独占的に製造を受託しており、売上高は1,322百万円となりました。一方、自社化合物に関する研究開発の進捗状況は、網膜色素変性を対象とする第2相臨床試験を予定通り遂行し、脱毛症は、第2相臨床試験を予定通り推進しております。その他、睫毛(まつげ)貧毛症や糖尿病性神経障害、アトピー性皮膚炎などのパイプラインについても非臨床研究を推進してまいりました。

これらの結果、当期の業績は売上高4,162百万円、営業利益728百万円、経常利益732百万円、当期純利益666百万円となり、

売上については予想の範囲内、利益については予想を上回る結果となりました。コスト削減など、新経営陣が取り組んできた諸施策が一定の成果を上げたものと考えております。

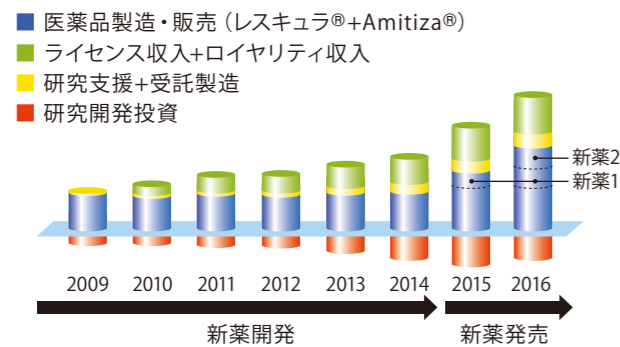
来期は、レスキュラ®点眼液の製品特性を活かした国内のプロモーション活動の成功事例をベースにグローバルな展開、研究開発のさらなる推進、研究開発支援および受託製造サービス等のビジネス基盤の拡充など、当期に比べ増収・増益を予想しており、売上高4,508百万円(8.3%増)、経常利益1,031百万円(40.8%増)、1株あたりの年間配当金は2,000円を予定しております。

当期は事業戦略の一部見直しに伴う組織の改編や経費削減といった“守り”のステージでしたが、来期は“攻め”のステージと位置付け、業績予想を達成するために邁進してまいります。

3 成長戦略 Growth strategy

【目標】5年間に第2相臨床試験のパイプラインを5つ持つ

国内外の製薬企業へのライセンスアウト



新規医薬品の研究開発事業

現役眼科医師である社長を中心に、患者や医師が必要としているにもかかわらず有効な治療法のない領域(アンメット・メディカル・ニーズ)や患者数5万人以下の希少病疾病、生活改善薬領域の新薬を、医療現場の声を反映させながら、優先順位を考え効率的に開発しております。

医薬品の製造・販売事業

当社の主力製品であるレスキュラ®点眼液(緑内障・高眼圧症治療薬)は、1994年の発売以来、50万人以上の患者様に処方されロングセラーを誇っています。今後は、国内でのプロモーション活動で得た経験を活かし、グローバルな展開も予定しており、当社の大きな収益基盤のひとつとなっております。

医薬品の開発支援および受託製造サービス事業

Sucampo Pharma Americas, Inc.が開発したAmitiza®カプセルの受託製造のほか、独自の技術を活かした液体充填カプセルの受託製造や米国向け点眼液の受託製造を開始し、さらなる収益基盤の拡充に取り組んでおります。

4 研究開発 Research and Development

Q どのような領域をターゲットとして創薬するのでしょうか

アンメット・メディカル・ニーズ領域 (未だ満足のゆく治療法がない医療領域)	対象疾患(開発新薬コード名) 重症型ドライアイ (RU-10) アトピー性皮膚炎 (RTU-1096) 糖尿病性白内障 (RTU-007) 糖尿病性神経障害 (RTU-1096)
オーファンドラッグ (希少疾病医薬品)領域	網膜色素変性 (UF-021)
アンチエイジング領域、 生活改善薬領域	脱毛症(女性も含む) (RK-023) 睫毛(まつげ)貧毛症 (RK-023)

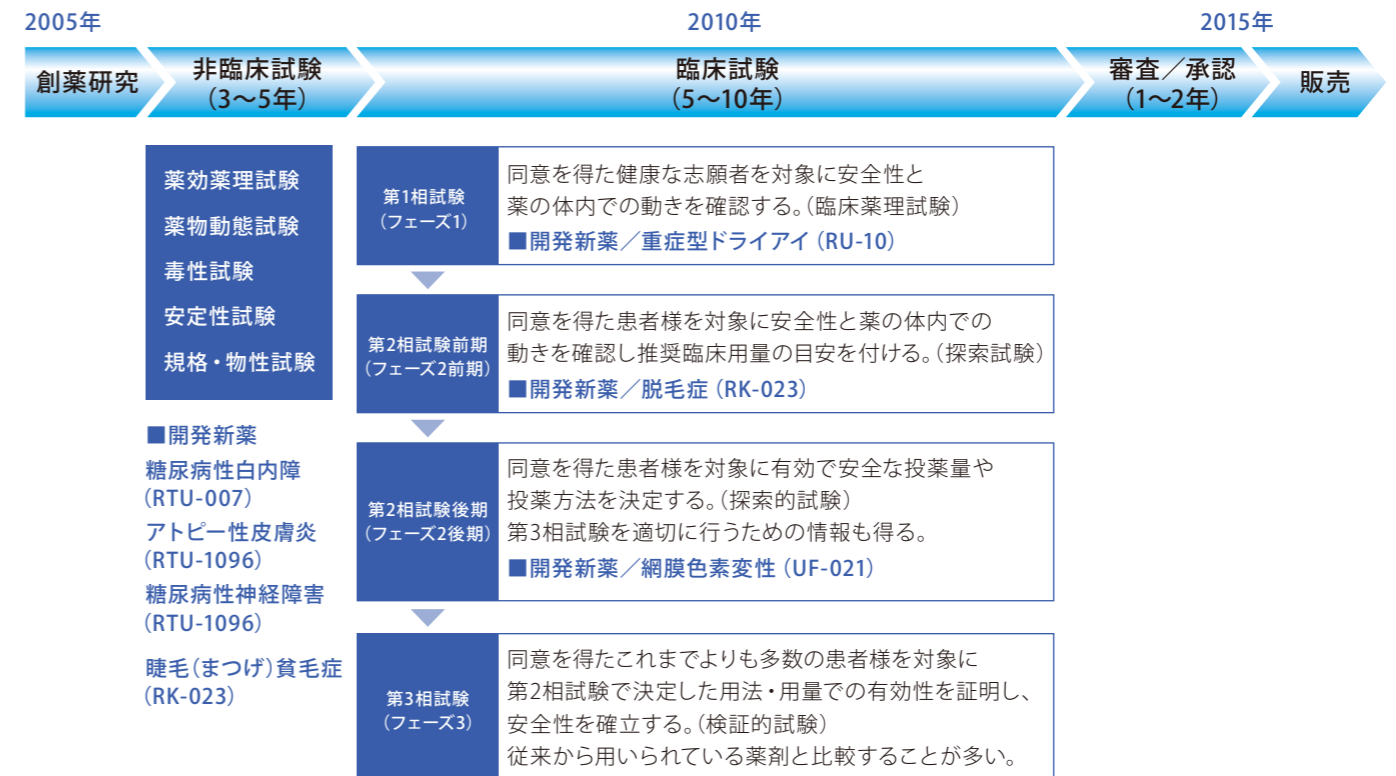
Q オーファンドラッグ(希少疾病医薬品)としての網膜色素変性治療薬 (UF-021)とは

日本では、希少疾病とは患者数が5万人以下の疾患で、治療薬の開発には国の援助が得られます。世界中では約100万人の網膜色素変性患者が病気で苦しんでいますが、未だに治療薬や治療法が確立されていない難病です。当社では、第2相臨床試験で検査所見および自覚的所見においても用量依存的に視機能の改善を示すことが判明しましたので、世界に先駆け治療薬を開発したいと考えており、網膜色素変性の患者様のために治療薬の早期承認取得を目指してまいります。

Q 育毛剤の市場規模はどのくらいでしょうか

日本の男性型脱毛症に対する育毛剤の売上は年間約450億円です。その1/4が病院処方箋薬であるプロペシアで、残りが薬局で購入するOTC製剤です。全世界でプロペシアの売上は約450億円と報告されています。当社の脱毛症治療薬であるRK-023は、病院で処方を受ける頭部への塗布剤で、脱毛や薄毛で悩んでいる男性および女性が治療対象です。女性の薄毛に対しては治療薬や治療法が確立していないアンメット・メディカル・ニーズ領域です。

[新薬開発プロセスと開発状況]



当社の主力製品について

【製品名】レスキュラ®点眼液0.12% 【効能・効果】緑内障・高眼圧症

- 世界初のプロスタグランジン関連製剤(緑内障治療薬)です。
- 眼圧下降作用だけでなく、視神経保護作用(in vitro)や正常眼圧緑内障において眼血流改善作用があることが報告されています。
- 1994年の発売以来、世界45カ国で50万人以上の患者様に処方され、ロングセラーを誇っています。

製品名の由来

RESCUE (救う)
 OCULAR (眼)
 RESCULA=レスキュラ



5 財務内容 Financial Statements

貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2009年3月期	当期 2010年3月期
資産の部		
流動資産	5,201	5,371
現金及び預金	2,387	3,196
たな卸資産	1,892	1,601
その他	922	573
固定資産	2,641	1,672
有形固定資産	896	657
無形固定資産	176	146
投資その他資産	1,568	868
資産合計	7,843	7,043
負債の部		
流動負債	763	741
固定負債	869	143
負債合計	1,632	884
純資産合計	6,210	6,159
負債純資産合計	7,843	7,043

●1株当たり配当金※/1株当たり純利益※



※第18期～第20期の数値については株式が1:2で分割された前提で再計算しております。(小数点以下切捨)

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2009年3月期	当期 2010年3月期
売上高	5,993	4,162
営業利益	1,468	728
経常利益	1,431	732
当期純利益	936	666

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 2009年3月期	当期 2010年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	1,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△481	261
財務活動によるキャッシュ・フロー	434	△822
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226	808
現金及び現金同等物の期首残高	2,160	2,387
現金及び現金同等物の期末残高	2,387	3,196

ホームページのご案内

ホームページ上で会社概要、財務内容をはじめ業務内容詳細ならびにプレスリリース内容等をタイムリーかつ幅広くお知らせしております。



<http://rtechueno.com>

6 会社プロフィール Corporate data

(2010年3月31日現在)

●会社概要

商号	株式会社アールテック・ウエノ
本社	東京都千代田区内幸町1丁目1番7号
三田事業所	兵庫県三田市テクノパーク4番地の1
設立	1989年9月21日
資本金	6億5,398万円
従業員数	67名
事業内容	医薬品の研究開発 医薬品の製造販売 医薬品の研究開発支援サービス 医薬品の受託製造サービス

●役員

代表取締役社長	真島 行彦
取締役会長	久能 祐子
取締役	林 直
取締役	本間 伸也
常勤監査役	逆瀬川 素行
監査役	浅田 永治
監査役	田口 和幸

●株式の状況

発行可能株式の総数 **192,000株** 発行済株式の総数 **98,444株** 株主数 **2,076名**

大株主	株数	割合
S&R Technology Holdings, LLC	32,740	33.2%
上野 隆司	16,000	16.2%
久能 祐子	10,000	10.1%
OPEパートナーズ二号投資事業有限責任組合	5,086	5.1%
OPEパートナーズ一号投資事業有限責任組合	3,802	3.8%
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	3,254	3.3%
三菱UFJキャピタル	2,720	2.7%
三上 芳宏	2,542	2.5%
日本生命保険相互会社	1,666	1.6%
SMBCキャピタル8号投資事業有限責任組合	1,386	1.4%

株主優待講演会について

日頃よりご支援頂いている株主様に対し、病気や健康についてのご理解を深めて頂くとともに、医学の進歩や医療サービスの高度化による恩恵を少しでも享受して頂くべく実施いたします。

対象者	3月末日現在の当社株主名簿に記載された1株以上保有されている株主様と同行者1名(続柄不問)
開催日時	平成22年7月10日(土) 14:00 開始
開催場所	大手町サンケイプラザ
講演内容	「高齢化社会と目の健康(緑内障について)」
講師	講師 眼科専門医 真島行彦 (当社代表取締役社長/慶應義塾大学医学部非常勤講師)
特記事項	株主優待講演会の講演内容は、後日弊社ホームページを通じて配信する予定

今後株主の皆様の健康の増進・向上にお役に立つべく、微力ながら精進してまいります。

